

タイトル「超人ナイチンゲール」 (全261ページ)

発行者：株式会社 医学書院

発行：2023年11月15日 第1版 第1刷



著者：栗原 康

はじめに

- 第一章 ある日、とつぜん神はやってくる
- 第二章 憑依としての看護
- 第三章 つぎのキリストはおそらく女性だろう
- 第四章 ハンマーをもった天使

第五章 白衣じゃねえよ、黒衣だよ
第六章 運にまかせず、その身を賭ける
参考文献
おわりに

第一章 英国貴族の大富豪ナイチンゲール家の次女として1820年に、自宅の改築中の3年に及ぶ新婚旅行中のイタリアのフィレンツェで生を受ける。名前はフローレンス。

第二章 「憑依（ひょうい）としての看護」看護は、能動・受動の外にある。わけなく看護するのは教会権力が及ばない「神」による。絶対的能動（神）と絶対的受動（自己無化）

第三章 看護管理者としての才覚をロンドンのハーレー街で発揮

第四章 クリミア戦争における看護団の総監督に就任、コンスタンチノーブル近郊のスクタリ病院で傷病者の致死率改善に尽力

第五章 トルコ領の総監督から「全陸軍病院における女性看護団の総監督」に就任し、クリミアに上陸するも終戦

第六章 帰国後、兵舎病院の改革に尽力、政府の異論に対して、統計学を駆使

全体を通して、ひらがなの多用、タメ口の文体が特徴

シリーズ「ケアを開く」の33冊目の出版

裏表紙の下段に、「本シリーズでは、「科学性」「専門性」「主体性」といったことばだけでは語りきれない《ケア》の世界を探ります。」